



# 給食だより

先日配布した「給食に関するアンケート」について、たくさんの方にご協力いただきました。ありがとうございました。今回のおたよりでは、アンケート結果に

いただいたご意見・ご要望の一部です！

## ☆良い点☆

### ◎給食を楽しみにしている

子どもが「今日の給食は？」と楽しみに聞いてくる  
給食が登園のきっかけになっている  
子どもの話から、給食が楽しく美味しいものだと言われるので  
「給食の〇〇が美味しかったから作って」とよく言われる

### ◎献立について

栄養バランスが良いと思う  
季節の食材を使ったメニューがあり楽しみにしている  
メニューの種類が豊富  
1回の給食の食事量が増えたように感じる  
どのメニューも美味しそうで、子どもが喜ぶそうだった  
子どもだけでなく、大人も新しいメニューに出会うことができる  
おかわりを含め、野菜をたくさん食べる機会になっている  
旬の食材やイベントに合わせたメニューから旬や食文化を学べる  
兄弟のときよりも、炭水化物+炭水化物の日が減った

### ◎食育について

子どもから給食の話をしてくれるようになった  
給食を通して食事に興味を持つようになった

### ◎苦手への克服

給食をきっかけに、自宅でも食べれる食材が増えた  
家庭でも、少し口に入れてみようかと挑戦するようになった

### ◎アレルギーについて

アレルギー対応についてしっかりと相談してもらい感謝している

### ◎その他

役員会・給食参観の時に、美味しく満足できた  
できたての給食を食べることに満足している  
友達と一緒にたべることや食事を楽しむ経験になっている  
兄弟が、幼稚園の給食を恋しがっている

## ☆要望☆

### ◎献立表について

毎月の献立表がもっと見やすく、情報が多いといい  
(摂取カロリー、バランスがわかるように)  
献立の字をもう少し大きくしてほしい

### ◎献立について

炭水化物が多いと思う(麺とパンが提供される日)  
品数がもう少し多いと嬉しい  
魚メニューの日が増えると嬉しい  
毎月ショートケーキを食べていたことに疑問があった  
チョコを給食に出すのであれば、歯磨きしてほしい  
野菜(特に緑黄色野菜)をもっと提供してほしい  
パンと牛乳が多すぎる  
もう1品あってもいいのではないかと思う  
ボリューム不足や、組み合わせについて疑問に思う日がある  
ウインナーなどの加工品の頻度が多く心配である  
フルーツは缶ではなく生のものをもう少し取り入れてほしい  
地産地消など産地の農業状況などを気にしていないのか  
たまに子どもが苦手そうなメニューの日がある(大人向け)

### ◎食育について

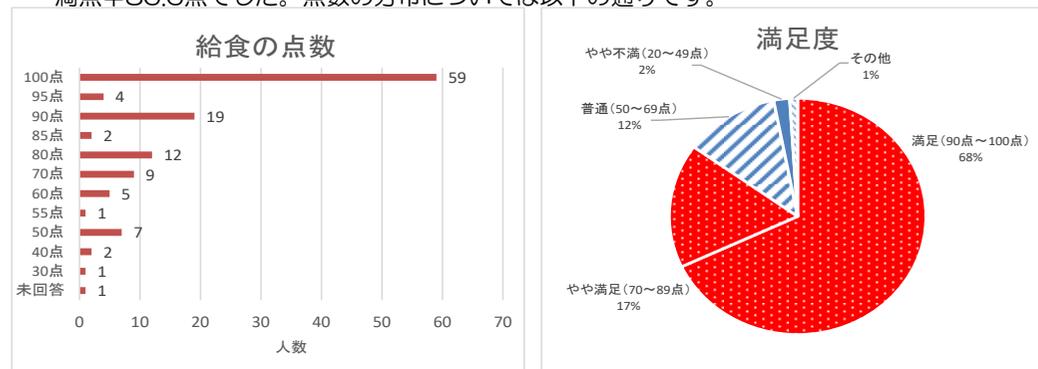
地産地消メニュー、郷土料理などがあるといい

### ◎その他

給食では頑張って食べるので色々な食材をだしてほしい  
のどに詰まらせることが怖いので、大きさなど配慮してほしい  
おかずを委託しており、添加物が気になる

この他にも、レシピを掲載してほしい、給食の様子(配膳している様子、量や盛り付け、調理している様子)を知りたい、など様々な意見がありました。

アンケートは、308枚配布し122枚集まりました。給食に対する点数の平均点は、100点満点中86.6点でした。点数の分布については以下の通りです。



アンケートをご提出していただいた方のうち、約9割の方が給食に対して「満足している」「やや満足している」という評価をいただきました！

満足度が「普通」、「やや不満」というアンケートには、実際の給食を見たことがないため、給食について献立表からしか情報がなく判断できないためこの点数を選んだという

今回、給食をきっかけに、苦手な食べ物に克服・挑戦できるようになったという声をたくさんいただきました。集団給食という環境が、いかに子どもたちに大きな影響を与えるか改めて知りました。挑戦しようという思いのある今、給食やご家庭での食事を通して、色々な料理でその食材の良さを伝えていきましょう。今後、おたよりでレシピ等お知らせしますので、ご家庭でも是非試してみてください。

今年度、献立表の形式の変更や給食だよりの配布、献立の見直しなどに取り組んできました。そういった点について「よくなった」と言っていただきとても嬉しかったです。しかし、変更前の方がよかったという声もあり、これまでの取り組みについても今一度見直し、良いところは取り入れるよう検討していきたいと思えます。

今回いただいたご要望を受け、11月から惣菜の取引業者を増やしました。蒸し料理や焼き料理を中心に、バラエティに富んだ給食を提供していきます。他の要望も検討していきます。子どもたちの心と身体を育む給食づくりに向けて今後とも取り組んでいきたいと思えます。たくさんのご協力、ありがとうございました。

